

# 障害者自立支援法訴訟の基本合意の完全実現をめざす会ニュース⑩

- ◎家平さんが『生きたい! 家族とみんなと』を出版
- ◎総合福祉法骨格提言まとまる! 総合福祉部会(第18回)  
—55人の熱意の賜物—完全実現をめざして、さあ「秋の陣」へ

JD めざす会

検索

## ◆家平さん(元東京原告)の本、出版!!

東京の元原告の家平悟さんが『生きたい! 家族とみんなと』を出版しました。

大阪府和泉市に生を受け、だんじりで有名な岸和田で育った家平さんは15歳のとき、プールの飛び込み時の事故で重い頸髄損傷を負いました。



A5判・96頁  
\*手に取りやすいサイズで、腕やバッグの負担が小さくて済みます。  
[定価]1,260円(税込)  
[発行]全国障害者問題研究会出版部  
[購入の連絡先]  
Tel 03-5285-2601  
Fax 03-5285-2603  
info@nginet.or.jp(担当: 園部英夫)

絶望、もどかしさ、家族への思いなど青春時代は障害ゆえの葛藤と苦悩に満ちていました。しかし養護学校で仲間と出会い、障害のある自分を受け入れ、作業所での仕事と運動を通して、責任と誇りを確信するようになります。そして恋をして結婚し、子どもを授かります。妻の故郷である東京に拠点を移した家平さんは、自立支援法が違法であると、東京からの原告として立ったのです。

家平さんの生い立ちから自立支援法への怒り、そしてかけがえのない大切な、愛する家族への思いを底流に綴られた、温かくて芯の通った1冊です。

★基本合意文書の内容もさりげなく掲載されています

## ◆8月30日、総合福祉法・骨格提言まとまる!

第18回目の総合福祉部会では、最終議論が交わされ、基本合意文書の記述もより丁寧に加筆されました。

まず佐藤部会長から前回の骨格提言案との主な修正点を説明されました…「原則無償」は「高所得者一部有料」に、入所施設を、地域移行から支援体系に位置づけ、介護保険の対象年齢となっても従来通り総合福祉法でのサービスを受けられる、など。

す。人間・家平悟の生き方にふれてください。最後の、20歳になった息子たちに向けたメッセージには誰もが心を揺さぶられるでしょう。

家平さんに  
紙上インタビューしました。

問: 出版のきっかけは?

家平: 先日、7月末に大阪で行われた全国障害者問題研究会の第45回大会での記念講演にあわせて違憲訴訟で訴えたことなどを本にしてはどうか。という提案をいただいたことがきっかけです。「自分の本!？」との驚きもありましたが、自分の障害と向き合い、その時々を考えてきたことなら語れるんじゃないかと思い、おもいきって出版することにしました。

問: 家族とは?

家平: 家族は、生きる喜びを一緒につくるかけがえのない存在です。気をつけているのは、障害のある夫・父がいても普通に暮せるように、家族に頼り切った生活をするのではなく、一人の人間として自立・自律した存在であろうということです。

問: この本で一番伝えたかったことは?

家平: いま障害者福祉は、人権を保障する新たな法制度に生まれ変わるかが大きな焦点です。しかし、これを実現できるかは、私たちの運動にかかっていると思います。この本を通じて、多くの人に「誰もが生きる喜びを実感できる社会に変えよう!」と、呼びかけたいと思います。

読む人によって異なる捉え方をされる表現についての議論もあり、文言の調整がされることになりました。佐藤部会長は「最後はなんとか合意できた。皆さんの熱意の賜物。この機を逃したら、30~40年だめだ、という思いがなさせた」と述べ、東担当室長は、「皆さんのご協力でまとめられた。推進会議のフォローアップは厚労省と打ち合わせないと何ともいえない。わかりやすいバージョンづくりはできるだけ前向きに検討する」などが述べられました。